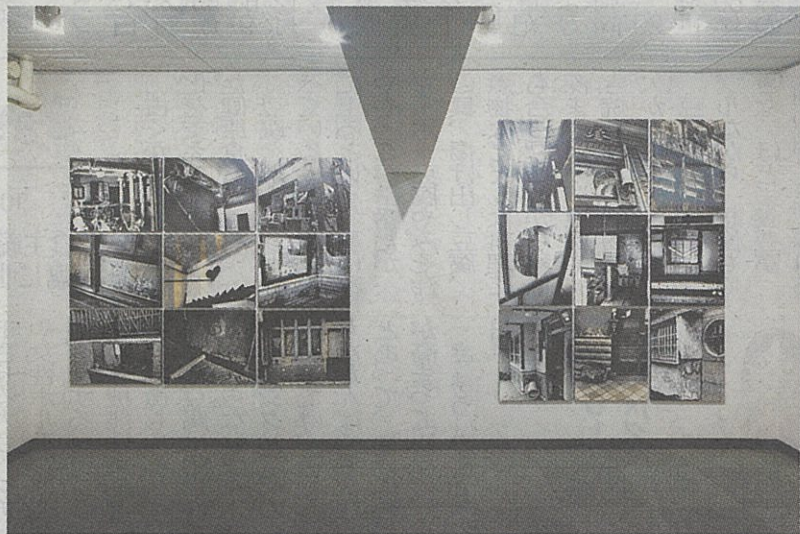


# 文化・芸術



## 「連夜の街」展示風景

1978、81年  
ゼラチン・シルバー・プリント  
作家蔵（撮影：木暮伸也）

## 石内 都（1947年）

「連夜の街」は、「絶られていきます。」

唱・横須賀ストーリー」

「目には見えない何

「APARTMENT」物かを取り出そうと必

に続き発表された石内死になって」撮影し歩

都さんの初期3部作のいた一つ一つの時間。

うちの3作目。本展でその街、この建物に生

は、1980年ニコンきざるを得なかった

サロンでの個展時のピ人々の、かつての時間

ンテージプリントを展を、石内さんは自らに

示しています。引き寄せ撮影し続けて

きました。

被写体は、赤線跡の

建物です。建物がま

と黒の濃度のさらつき

う「におい」にシャッは、現在を生きる私た

ターが切られていまちに「奇妙に美しい光

す。その撮影地は、日景」として迫ります。

（小此木）

企画展「石内都  
STEP THROUGH TIME」から

## 〈名画の扉〉